

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【公開番号】特開2012-188116(P2012-188116A)

【公開日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2012-040

【出願番号】特願2012-101415(P2012-101415)

【国際特許分類】

B 6 0 K 1/04 (2006.01)

B 6 0 L 11/18 (2006.01)

B 6 0 L 15/20 (2006.01)

B 6 0 L 5/00 (2006.01)

B 6 0 K 6/28 (2007.10)

B 6 0 R 1/00 (2006.01)

H 0 2 J 17/00 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 K 1/04 Z

B 6 0 L 11/18 C

B 6 0 L 15/20 J

B 6 0 L 5/00 B

B 6 0 K 6/28

B 6 0 R 1/00 A

H 0 2 J 17/00 B

H 0 2 J 7/00 3 0 1 D

H 0 2 J 7/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月19日(2012.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部に設けられた給電設備が備える送電コイルから非接触で電力を受電すると共に、車両の底面側に配置された受電コイルと、

前記車両の底面ではない周面に設けられ、前記車両の外部を撮像する撮像装置と、

前記給電設備と通信する通信部と、

前記撮像装置が撮像した前記車両の外部を表示する表示部と、

前記受電コイルの前記受電電圧、または、前記通信部を介して受信した前記給電設備から送出される電力の情報の少なくとも一方に基づいて、前記送電コイルへ前記車両を誘導する誘導制御部と、

を備え、

前記受電コイルは、前記車両の前後方向における中央部から前記撮像装置が設けられた周面側にずれた位置に配置された、車両。

【請求項 2】

外部に設けられた給電設備が備える送電コイルから非接触で電力を受電すると共に、車

両の底面側に配置された受電コイルと、

前記車両の底面ではない周面に設けられ、前記車両の外部を撮像する撮像装置と、

前記給電設備と通信する通信部と、

前記撮像装置が撮像した前記車両の外部を表示する表示部と、

前記給電設備からの給電出力または前記受電コイル側への給電入力の少なくとも一方の検出により求めた前記送電コイルから前記受電コイルへの給電状況に基づいて、前記送電コイルへ前記車両を誘導する誘導制御部と、

を備え、

前記受電コイルは、前記車両の前後方向における中央部から前記撮像装置が設けられた周面側にずれた位置に配置された、車両。

【請求項 3】

外部に設けられた給電設備が備える送電コイルから非接触で電力を受電すると共に、車両の底面側に配置された受電コイルと、

前記車両の底面ではない周面に設けられ、前記車両の外部を撮像する撮像装置と、

前記給電設備と通信する通信部と、

前記撮像装置が撮像した前記車両の外部を表示する表示部と、

前記受電コイルの受電電圧を前記通信部を介して前記給電設備に送信すると共に前記通信部を介して前記給電設備から受信する前記受電コイルと前記送電コイルとの距離情報に基づいて前記送電コイルへ前記車両を誘導する誘導制御部と、

を備え、

前記受電コイルは、前記車両の前後方向における中央部から前記撮像装置が設けられた周面側にずれた位置に配置された、車両。

【請求項 4】

内部に前記送電コイルを有する送電ユニットが前記撮像装置の死角に入った後、前記誘導制御部は前記車両の誘導を開始する、請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の車両。

【請求項 5】

前記車両は、前記受電コイルを内部に有する受電ユニットを備え、

内部に前記送電コイルを有する送電ユニットと前記受電ユニットとを、前記車両を平面視する方向から見ると、前記送電ユニットと前記受電ユニットとは、同一形状であり、

前記送電ユニットが前記撮像装置の死角に入るときに、前記送電ユニットの一部と前記受電ユニットの一部とが対向する、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の車両。

【請求項 6】

前記誘導制御部による制御時に前記給電設備から出力される電力は、前記誘導制御部による制御後に、前記給電設備から出力される電力よりも小さい、請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の車両。

【請求項 7】

前記受電コイルが前記送電コイルから電力を受電可能な距離となると、前記誘導制御部による制御が開始される、請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の車両。